

表 9 展開期の支援ツール

記入者： 作成： 年 月 日

展開期		
支援関係を構築しながら課題解決、生活の再構築、再発防止への対応、地域づくりを目標とする時期		
本人への支援	☐	1. 継続訪問して、ため込み状況の変化を追跡する
	☐	2. 訪問時にライフラインを確認して、生活状況の変化の有無を把握する
	☐	3. 本人の心身の状態に変化がないかを確認し、支援のタイミングをとらえていく
	☐	4. 支援側からの提案を受け入れてもらえるように、定期的に訪問し信頼関係を維持する
	☐	5. 本人の考えやこだわりに対し、受容する姿勢を示し信頼関係を維持する
	☐	6. 本人の困っている部分から対応するように、言葉を選び、片付けの流れをつくる
家族・親族への支援	☐	7. 同居家族にキーパーソンが不在の際は、別居親族からキーパーソンとなる人を見定める
	☐	8. 家族・親族がどこまで本人の生活を支えられるかを見極める
	☐	9. 本人の支援に関する家族の意向を確認する
	☐	10. 同居の子どもに、必要時、支援・対応の内容を説明する
	☐	11. 家族間の土地・家屋等の相続トラブル発生の可能性を推測する
	☐	12. キーパーソンと業者が円滑な手続きを行えるように仲介する
近隣・地域住民に向けた支援	☐	13. 近隣との関係が悪化していないかを確認する
	☐	14. 近隣住民へ経過を説明する
	☐	15. 相談者（苦情者）の訴えに対応し、支援を継続していることへの理解を促す
	☐	16. 樹木の伐採時、相談者（苦情者）の敷地への立ち入り作業の了承を得る
	☐	17. 近隣住民がほかに活用可能な相談窓口を紹介する
	☐	18. 地区担当の民生委員へ、安否確認のための協力を依頼する
家屋および家屋周辺状況等の現地確認	☐	19. 敷地の樹木の伐採、堆積物の除去などの経過を確認する
関係機関との連携	☐	20. 関係機関と、支援の経過および結果について情報を共有する
	☐	21. 本人の状況の変化に合わせて、担当部署に早期につなぐ
	☐	22. 担当者の引き継ぎによる支援の滞りを避ける
	☐	23. 緊急に支援する状況についてあらかじめ検討しておく
	☐	24. 家屋侵入による安否確認を行う場合には警察と消防へ依頼する
	☐	25. 本人の生活維持のためのサービスや制度を再検討する
	☐	26. 生活上改善した部分を維持できるように、支援を検討する